

施策名	目標2-3 地球環境保全に関する調査研究					
施策の概要	地球環境分野のモニタリングを推進するとともに、気候変動の影響及び影響に対する適応の情報収集・調査研究などを推進する。					
達成すべき目標	地球温暖化防止等の分野に必要な調査研究、監視・観測、基盤技術の開発、情報提供を推進する。					
施策の予算額・執行額等	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額
	当初予算(a)	—	—	1,018	996	966
	補正予算(b)	—	—	0	0	
	繰り越し等(c)	—	—	0	0	
	合計(a+b+c)	—	—	1,018	996	966
執行額(百万円)	—	—	1,014			
施策に係る内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日			関係部分(抜粋)	

測定指標	1 各種研究調査結果等の情報提供の進捗状況	基準年度	施策の進捗状況(実績)					目標年度
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	—	
	—	—	—	—	成果を統合レポートに活用	成果を適応指針、ロードマップの策定に活用	—	
	年度ごとの目標値							
	2 終了翌年度に実施する事後評価(5点満点)で4点以上を獲得した課題数(4点以上の課題数/全評価対象課題数)	基準値	実績値					目標値
年度		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	各年度	
—		0% (0/1)	80% (4/5)	0% (0/3)	75% (3/4)	100% (1/1)	50%以上	
年度ごとの目標値								

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>○低炭素社会づくり及び気候変動への賢い適応等の重要テーマに係る研究等が政府間会合により採択され、研究が促進された。また、第三次活動計画に基づき、効率的かつ効果的な運営を行った。</p> <p>○地球環境分野の調査・研究により、地球温暖化観測に必要な基盤技術の開発や、地球温暖化分野の情報提供の推進を図った。また、IPCCへの支援は、第5次評価報告書作成に向けたIPCCの諸活動に貢献した。</p> <p>○平成21年1月に打ち上げた温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)の観測データの一般提供を平成21年10月に開始した。</p> <p>○地球環境戦略研究機関設立から知見を集積し、重要な国際ネットワークの中核として機能し始めている現状に鑑み、目標の達成に向けて着実に前進しているものと評価できる。引き続き拠出金による支援を行うことにより、その基盤を強固なものとする必要がある。</p>
	目標期間終了時点の総括	

学識経験を有する者の知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境保全試験研究費の採択審査、中間評価(研究期間中間年に実施)、事後評価において学識経験を有する外部評価委員の知見を活用し審査を実施し、その審査結果を踏まえ、研究及び制度を運用している。 ・文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会地球観測推進部会が毎年定める「地球観測の実施方針」を基に、地球観測及びそれにおける連携施策を推進している。 ・専門家によるGOSATサイエンスチームを運営し、そこでの議論をGOSATの運用に反映させている。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	
---------------------------	--

担当部局名	研究調査室	作成責任者名	研究調査室 松澤 裕室長	政策評価実施時期	平成23年 6月
-------	-------	--------	-----------------	----------	-------------